

いながわ

議会 だより

第145号

平成24年(2012年)10月31日
発行:兵庫県猪名川町議会

とるわよ!

キャー
やめてっ

高規格救急自動車を購入	2
介護老人保健施設に補助	5
一般質問 9人が町の考えを聞く	6
追跡 あの質問 その後は	11

(猪名川小学校運動会)

高規格救急自動車を購入

会計別の補正額

会計	補正額	補正後の総額
一般会計	3億3340万円	92億9340万円
介護保険	3352万円	17億9634万円

一般会計補正予算の主な内容

地域介護拠点施設整備費補助金	6740万円
通学路整備事業費	3730万円
感染症対策事業費	793万円

補正額を万単位で表示するため端数処理をしています。そのため、実際の補正額と一致しない場合があります。



老朽化が進む高規格 救急自動車の内部

第362回 9月定例会

第362回定例会を9月11日から25日まで15日間開会し、24年度補正予算2件をはじめ、条例制定2件、条例改正3件、人事案件1件、上下水道事業会計決算2件、その他2件を審議し、いずれも全会一致で原案どおり可決・認定したほか、健全化判断比率と猪名川の教育点検・評価に関する報告を受けた。

なお、23年度一般・特別会計の決算6件については、各常任委員会に付託し継続審査とした。

動産購入

高規格救急自動車を購入

現在使用している高規格救急自動車は、購入後8年5カ月を経過し、走行距離19万9千キロメートルになり、老朽化したため、安全走行と住民の救命を図る観点から新たに購入。金額2987万円。

請負契約

B&G海洋センターを改修

開館から11年が経過しているB&G海洋センターに経年劣化がみられることから、公益財団法人B&G財団から助成を受け、工事請負契約に同意。契約金額約5722万円。なお、工事期間は平成24年9月17日から平成25年3月25日で、休館日は平成24年12月16日から平成25年1月7日までを予定。

条例制定

非常勤の嘱託職員の報酬及び費用弁償等に関する条例の制定

週の勤務時間が正規職員の4分の3以下の職員を非常勤の嘱託職員とし、地方自治法の規定に基づき、同職員に支給する報酬及び支給方法などについて、条例において規定する必要があるため、本条例を制定。

臨時的任用職員の給与等に関する条例の制定

週の勤務時間が正規職員の4分の3を超える職員を常勤の臨時的任用職員とし、地方自治法の規定に基づき、同職員に支給する賃金及び支給方法などについて、条例において規定する必要があるため、本条例を制定。

決算認定

平成23年度水道事業会計決算を認定。
平成23年度下水道事業会計決算を認定。
(詳細は5ページ)

人事案件に同意

監査委員を選任

監査委員の任期満了に伴い、長島久さんの選任に同意。任期は28年10月7日まで。



改修されるB&G海洋センター

条例の一部改正

火災予防条例の一部改正

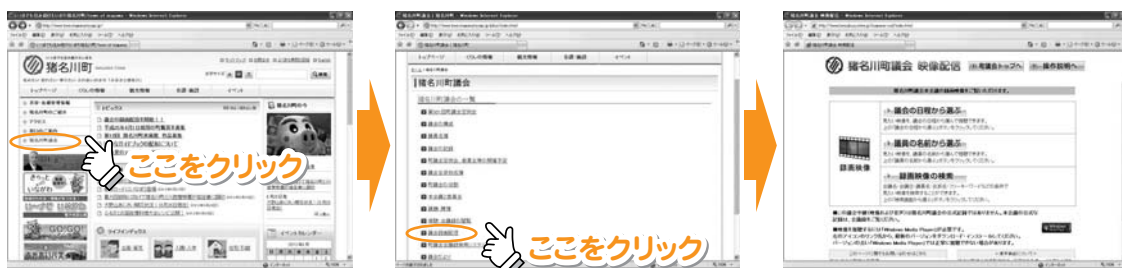
対象火気設備などとして、急速充電設備が追加されたため、本条例の一部を改正した。※ただし現時点では本町に該当施設はない。

「急速充電設備」
電気自動車に、短時間での充電を可能にする急速充電機能を利用した装置。

補正予算

平成24年度一般会計補正予算

北部小規模介護老人保健施設建設に伴う整備補助金を措置したのをはじめ、感染症対策としてポリオワクチン800人分の購入費。阿古谷小学校統合に伴う通学路改修事業費などを措置した。



(町ホームページから町議会をクリックし、町議会から録画配信をクリックして映像配信にお進みください。)

録画配信
していただけます。

総務文教

防災会議の委員枠拡大 ～自主防災組織構成員も選任～



地域の防災訓練で連携する消防職員と自主防災組織（西宮市消防局HPより）

9月12日、委員会を開会。付託5議案を審査。主な質疑は次のとおり。

一般会計補正予算

Q 阿古谷小学校通学路整備費の増額理由は何か。

A 橋の拡幅・転落防止柵や一部の里道などの工事費用であり、児童・生徒のより一層の安全を確保するためである。

Q 整備した通学路で事故があった場合の責任の所在は。

A 陥没・防護柵の損傷などによる道路管理上の事故は本町に責任があるが、子どもと農機具使用者など通行上の事故については、双方で注意しながら通行してもらうよう、今後も説明していく。

Q 通学路整備費は、総額でいくらか。

A 教育費は、当初予算に今回の補正による工事請負費、用地購入費、追加の補償金を加えて約6800万円。また、土木費は、紫合13号線に係る歩道整備費1780万円であり、総額で約8500万円となる。

Q 委員の選任については、自主防災組織を所管する消防との連携が必要と考えるか。

A 消防とも情報交換しながら選任する。また、庁内関係部門との連携を深めながら防災態勢の強化に努めていきたい。

非常勤嘱託職員の報酬等の条例を制定

Q 嘱託職員の報酬で正職員と同様の条例による給料表を設ける予定は。

A 種々ある職の金額については、それぞれ規則で定めていきたい。

災害対策本部条例、防災会議条例の一部を改正

Q 町長が任命する防災会議委員としての「自主防災組織を構成する者」は、毎年交代するのか。その場合、組織運営は成り立つのか。

A 現状の自主防災組織は、自治会単位で構成されているが、幅広く適任者を選任したいとの思いから、こうした規定を設

けるものである。

Q 電気自動車の普及に伴い、町内で急速充電設備を設置する予定はあるのか。

A 現在のところ、町内における設置予定に関する協議は確認していない。今後、普及していくものと認識している。

（その他、臨時的任用職員の給与等に関する条例制定についても審査し、いずれも全会一致で可決）

小規模介護老人保健施設に補助

9月13日、委員会を開
会。付託5議案を審査。
主な質疑は次のとおり。

一般会計補正予算

Q 北部で計画されている小規模介護老人保健施設における業者決定の経緯や位置づけは。

A 北部地域における医療体制の継続維持が不可欠であることから、杉生診療所と小規模介護老人保健施設で、医療と福祉の総合的な充実を目指し、入院された方が在宅に戻るよう支援する。

Q 新たな入所施設の開設により、今後財政に与える影響は。

A 第5期介護保険事業計画の中で議論も行った。本施設利用者のうち町内

の住民で10床程の利用を見込み、保険料は算定済。

Q 阿古谷小学校統合に伴う通学路整備で、町道

において、一部障害物により見通しが悪いところがあるが、対応は。

A 安全確保を第一に考え、横断歩道も設置していく。見通しを悪くしている箇所は、所有者に協力をお願いしていく。

介護保険特別会計補正予算

Q 認知症は、今後も対象者が増えると考えられるが、具体的な事業内容は。

A 「つながりノート」の作成を考慮しており、介護サービス提供者や家族・医療機関で情報の共有

を図る。普段の状況が医師にもわかり、認知症の症状の早期発見につながる。

水道事業会計決算の認定

Q 三菱電機プラントエンジニアリング(株)と多額の契約をしているが、どの科目に入っているのか。また運転保守の詳細は。

A 原水及び浄水費の委託料と配水及び給水費の委託料に入っている。平成23～25年までの3年契約。笹尾浄水場や清水東水源井に係る浄水施設と47カ所の配水施設、中央

監理所管理業務・電気計装設備の点検業務など。

Q 上下道に係る毎年の工事額は。

A 22年度1億8千万円、

23年度1億円程で、電気計装設備の更新で5千万円程、配水管の更新で2千万円から4500万円。水道事業マスタープランでは平成43年まで毎年1億円から3億円で計画している。

Q 県水受水単価が16・4円下がり、受水費が約5100万円減ったが、その理由は何か。

A 当初は10円下がる予定であったが、県企業庁の努力により結果的には16・4円の値下げとなった。

(その他、下水道事業会計決算の認定についても審査し、いずれも全会一致で可決・認定)



北部地域で計画されている小規模介護老人保健施設完成予想図



山田 京子議員

Q 赤ちゃんの駅を整備してはどうか

A 他市町の事例も参考にしながら考える

生活部長 現在進めている整備してはどうか。

町更なるPR方法として、原付バイクなどに、自治体だけで形や図柄が決められるご当地ナンバーを活用してはどうか。

総務部長 効果を数値で表すのは難しいが、税金という観点からは、費用対効果が見込めないため、導入の考えはない。

小さなお子さんをお持ちの人に優しく、少ない経費でできる「赤ちゃんの駅」を、公共施設も含め、商工会なども連携し、整備してはどうか。



他市のシンボルマーク

ひとくちメモ

「赤ちゃんの駅」

乳幼児を連れて外出した際、おむつ交換や授乳場所やミルク用のお湯などを提供できる施設。

る子育て支援事業を含め、新たな事業には、本町の財政状況により優先順位をつけ、近隣市町の事例なども参考にしながら考えたい。

今後の高齢化率上昇に備え、介護保険利用率抑制や医療費抑制の観点からも、普段から気軽に体を動かせるよう、健康づくりのための遊具を公園に設置してはどうか。

まちづくり部長 公園を整備する際、地域の意見を聞き、ニーズに合った遊具を設置していく。



登校する児童（楊津小学校）



肥爪 勝幸議員

Q 人口減少社会への対応は

A 魅力的なまちづくりに邁進し活性化を図る

企画部長 特別指定区域制度の活用やパークタウン・つつじが丘住宅地の戸建住宅建築、新名神高速道路開通による活性化への取り組みを推進する。

人口減少による影響の認識と今後の施策展開は。

企画部長 行財政基盤や

第5次総合計画の将来目標人口三万五千人は達成できるのか。対応策は。

企画部長 特別指定区域制度の活用やパークタウン・つつじが丘住宅地の戸建住宅建築、新名神高速道路開通による活性化への取り組みを推進する。

北部地域では8年間で人口は670人減少。六瀬中・大島小・楊津小の生徒・児童数は287人減少し、半数になった。現状分析と今後のまちづくりは。

企画部長 市街化調整区域の開発許可の厳しさが要因。当面は特別指定区域制度を活用し、地域特性を生かして活性化を図る。

財政計画を策定した対応も必要では。

企画部長 収支見通しの中で対応を考慮する。

その他の質問

- 職員提案制度の活用

Q 公契約条例の制定の考えは

A まずは国が法令を制定すべき



丸山 純議員

本町が発注する工事件名などについて安い価格だけで契約するのではなく、総合評価方式で発注すべき。平成23年度の3千万円以上の建築工事と500万円以上の業務委託件数は何件か。



公契約条例のパフレット

総務部長 まずは国が公契約法を制定すべきである。平成20年に国に意見書を提出済み。国と周辺地域の動向を探りながら検討していく。

総務部長 総務課が執行した件数44件のうち、3千万円以上は2件、500万円以上は3件。総合評価方式を採用すべきと考えるが、本町の考えは。

総務部長 総合評価には、高度技術提案型、標準型、簡易型などがあるが、本町においては、特別簡易型により平成20年12月に「猪名川町建設工事総合評価落札方式（特別簡易型）「試行要綱」を制定し、価格90%、評価10%で運用している。これまで2件の実績がある。

Q 公務技術の継承と向上は

A 自己研鑽とともに積極的に研修会に参加



石井 洋二議員

総務部長 公金管理運用方針の中でも人材育成と技術の習得に努める。

まちづくり部長 土木・建築関連では、全国的に団塊の世代が退職していく中、技術の継承が危惧されている。発注者として県などが主催する研修会に積極的に参加し、技術の習得に努める。



期待される公務技術の向上

「小さくとも輝くまちづくり」には、専門的公務技術の向上は欠かせない。技術力の継承と向上に対する方向性は。

いっしょに項目をあげ、金融政策に関する研修などによる、専門性の高い人材育成を掲げている。また、いつでもどこでも住民が行政サービスを受けることができる電子自治体の実現に向けて、取り組む必要があると認識している。いずれも高い専門的技術の習得が必要であり、担当管理者自らが専門技術の習得に努めるとともに、積極的に各種研修会に参加し、技術の研鑽を行っていく。

＜その他の質問＞

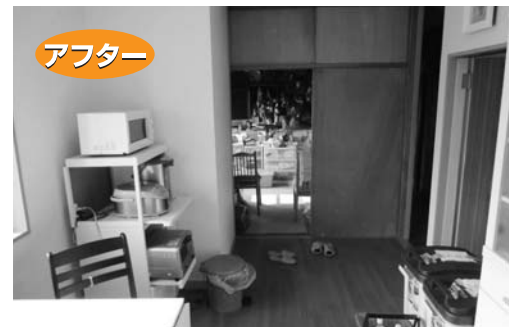


池上 哲男議員

Q 住宅リフォーム助成制度の創設を

A 大きな参考になり、研究は進めたい

住宅リフォーム助成は施工業者のみならず、あらゆる業種に大きな効果が生まれ、即効性もある。2年前の全国で175自治体からは533に、県内でも13市町へと、いずれも3割の自治体に広がり、住民・業者・自治体に歓迎されている。播磨町でもあまりの反響に驚いている。国土交通省も波及効果を認め、日経連も「早急に対策を講ずるべき課題」と提言している。町が効果を期待している我が家の耐震診断などの助成制度は対象者が限られ、町内業者との限定もない。現助成制度



住宅リフォーム（播磨町）

で経済効果はあったのか。住宅リフォーム助成制度を取り入れるべきでは。
地域振興部長 現助成制度の経済効果は調査していない。住宅リフォーム助成制度は補助期間だけの一時的な効果、すべての希望者が補助を受けることができないことなどから、慎重な対応が必要だが、大きな参考になり、研究は進めたい。

ひとくちメモ

「住宅リフォーム助成」自治体内業者に工事を依頼すれば費用の1割程を自治体が助成する制度。



24時間対応で在宅介護サービスができる施設



福井 澄栄議員

Q いじめ防止条例の早期制定を

A 条例制定は検討課題とする

近年全国で7万件、兵庫県で1000件ほどのいじめが見つかった。大切な子どもたちの命を守るために、早急にいじめ防止条例を制定するべきでは。
教育部長 いじめをしない・させない・見逃さないことを全ての学校で取り組んでいる。教職員研

修、アンケート調査、警察・関係機関と連携を密にしている。電話相談など、実態把握に努めており、条例制定は検討課題とする。
 住み慣れた本町で天寿を全うできるよう、24時間体制での在宅介護は充実しているか。
生活部長 上野地区に本年できた介護施設「オアシス猪名川」では、24時間体制でヘルパーが訪問し、在宅介護サービスができることをPRし住民の不安を解消していく。北プールをビオトープにし、町内の希少生物メダカをふやしては。

まちづくり部長 北プールの小さいプールでふやし、25メートルプールを消防団の水確保とビオトープに、中長期的に検討する。

Q 新名神開通を核とした本町の将来構想は

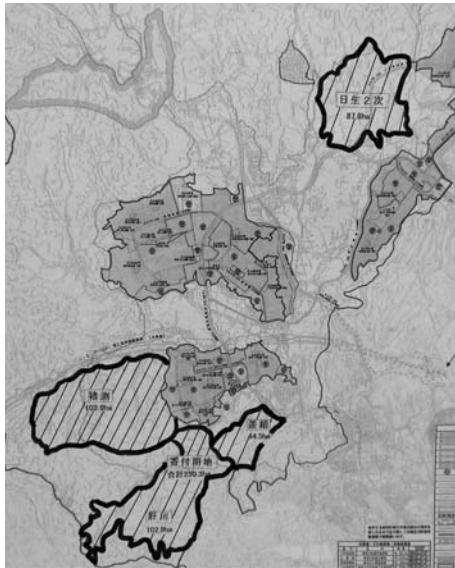
A 民間資本にて活用していきたい



加藤 郁子議員

本町住民に対して、積極的に情報発信をしていく手段として、SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）を利用するという考えはあるか。

企画部長 SNSの利用に関しては、他の自治体の取り組みや利用状況など先進事例を研究しながら、



町に寄附または寄附予定の土地

ひとくちメモ

「SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）」人と人のつながりを促進・サポートする「ミニコミュニティ」のウエブサイト。

ら、現在の仕組みを最大限に活用していきたい。

企業などの誘致計画、税収増加の努力計画、また、企業からの申し出があった場合、即座に対応できる新名神供用開始後の具体的なまちづくり構想は策定されているか。

まちづくり部長 具体的なまちづくり構想策定には至っていない。先進市町の情報や、社会情勢をみながら、民間資本にて活用していきたい。

有名私立大学や医科大学を誘致する考えは。

企画部長 私立大学誘致の効果は広範囲で、町としては希望するが、現況が山林のためインフラ整備が必要。企業・大学などの誘致に必要なさまざまな方策や支援を県に要望するなど、多方面から検討協議していく。

Q 消防本部に女性消防士の採用を

A 採用の実現に向けた努力を続けていく



下坊 辰雄議員

消防本部及び消防署が設置され、翌年には北出張所も設置。業務が開始され約20年が経つ。また、翌年救急救命士が誕生し、平成8年には制度化して、現在では15人となっており、人の命と財産を守る活動がされている。しかし、残念ながら女性消防士が一人もいない。今後の採用についての考えは。

消防長 女性消防職員の採用については、その必要性を常に意識しながら、機会をとらえて採用の実現に向けた努力を続け、一人でも多くの女性に本町消防職員を目指して



消防団の訓練

チャレンジしていただけるよう、積極的な広報活動を実施していく。

消防団407人体制は妥当か。今後の体制は。

消防長 各自治会及び分団に対しアンケートを実施。地域的要素や各分団の人員に対する要望などを取り入れながら、消防力の整備指針に関する調査検討会の報告による算定を参考に、407人に削減した。住民の安全・安心の確保に努力し、災害時の消防力が低下しないよう、訓練回数を増加し、消防力の強化を図る。



久保 宗一議員

Q 大人のいじめ問題の基本認識はどうか

A パワーハラスメント防止要綱を策定中

学校のいじめ対応マニュアルを作成した経過は。
教育部長 大津市の事件を受け、緊急対策として策定した。早期発見・早期解決を貫徹する義務的な位置づけもある。

大人のいじめ「セクハラ・パワハラ」の認識は。
総務部長 特に暴言や仲間外れといったパワハラは近年増加傾向にあり、社会問題として顕著化し業務の効率化を低下させるとの指摘から、ハラスメント防止要綱を策定中。

本町の自殺防止対策は。
生活部長 必要な支援につなげ、見守るゲートキ

パーを養成する研修会を実施している。
人権推進基本計画には職場の人権に係る記述は少ないが、町長の人権文化のまちづくりへの決意は。
副町長 同計画は、住民主体で人権文化のまちを目指す人権教育啓発の方向を示すものだが、これらを推進するうえで必要な職場環境のもと発揮することで住民サービスが向上する。職場のハラスメントには注意を払い、人権推進は町長以下職員が一丸となり取り組む。



厚生労働省が作成した「職場のパワーハラスメント」防止啓発パンフレット

全議員研修会を開催

8月10日、兵庫県町議会議長会事務局長濱秀次郎さんを迎え「議会運営について」をテーマに、13人の議員が講義を受けました。

議員研究会に参加

10月5日、太子町「あすかホール」で県町議会議長会主催の「議員研究会」が開催され、12人の議員が参加しました。

拓殖大学地方政治センター長自治体議会政策学会会長の竹下譲さんから「議会改革の方向」をテーマに講義を受けました。



お知らせ

あなたも議会・委員会を傍聴しませんか

町議会では、身近な問題などを議論しています。
 まちづくりを一緒に考えてみませんか。
 傍聴の手続きは簡単で、当日、議会事務局で傍聴受付簿に住所・氏名を記入していただくだけで傍聴できます。
 (議場20人、委員会室10人まで)

24年度 定例会の日程(予定)

*12月定例会

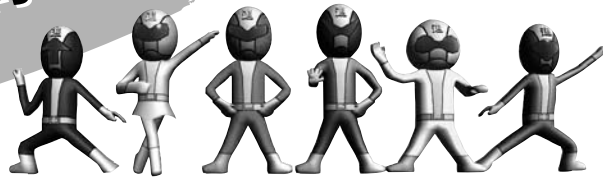
- 12月10日 (第1日)
- 12月17日 (第2日)
- 12月21日 (第3日)

*3月定例会

25年2月25日～3月26日

※議事の都合により変更することがあります。

いながわ 追跡調査隊 追うレンジャー



過去に行われた一般質問のその後を追跡調査隊「追うレンジャー」が調査しました。第19回のミッションは、次の2つの質問のその後です。

高齢者の見守りに新システムの導入を

質問 平成23年3月定例会

高齢者の見守りシステムとして、光ファイバ網を利用した新しいシステムに順次切り替えていく考えはないか。

答弁 今後十分な調査研究を重ね検討する

高齢者の増加に伴い見守りの活動の必要性が高まるのも必定。今後十分な調査研究をしながら検討していく。

現システムで対応

現システムでも光ファイバに対応できており、新しいシステムに切り替えるためには費用対効果が低いと思われる。



緊急通報装置

オープンオフィスの導入を検討しては

質問 平成23年3月定例会

コスト削減のため、本町でも無料のオープンオフィスの導入を検討しては。

答弁 オープンオフィスの導入を検討する

平成24年度以降に予定している端末機器更新の際、オープンオフィスの導入を検討する。

現在

今回の更新では、導入を見送った

平成24年度の端末更新時に検討をしたが、動作の不具合やセキュリティ面の不安などの課題があるため、今回の更新では、導入を見送った。

ひとくちメモ

「オープンオフィス」ワープロ・表計算などを統合した無料のソフト。

こどもたちの声



大そうじ

猪名川小学校 三年

森田 もりた

葉月 はづき

わたしは今日、おばあちゃんの家でキITCHンのそうじをしました。まず、はじめにしたことは、ガスコンロの中をそうじしました。スプレーをして、タワシでこすたら、まほうみたいになり、すぐによれが落ちたので、すごいなーと思いました。

おばあちゃんがよろこんでいたので、いいことをしたんだなーと思いました。

電きうなぎと電き

大島小学校 二年

宇高 うたか

航平 こうへい

電きうなぎにえさをやるところに行きました。魚が二ひき入れられました。そしたら、さいしょはよい電きだったけど、魚にどんどんちかづいていくときゅうにバリバリと大きな音がしました。きゅうにきたので、びっくりしました。

電きうなぎの電きはすごいなと思いました。かみなりとどっちが強いのかな。

色とりどりの運動会

(猪名川幼稚園)



編集後記

暑く長い夏がやっと終わり、秋の風が吹いてまいりました。

国会は、解散・総選挙をにらみ、様々な駆け引き・取引が行われていますが、国民は置き去りにされた感があります。震災被害者の方々の思いはなおさらのこととお察しします。

本町議会ではこのようないろんなことのないよう、常に町民の視点でチェック・提言を行ってまいります。9月議会の様子も本誌で精一杯お伝えしますので、議会へのご理解をよろしくお願いいたします。

